

地域経済活性化特別枠

草の根技術協力（地域経済活性化特別枠）事業概要

I. 提案事業の概要	
1. 国名	ベトナム
2. 事業名	ハイフォンにおける港湾物流効率化のための人材育成プログラム
3. 事業の背景と必要性	ベトナム北部の玄関港であるハイフォン港においては、北部への日系・外資系企業の進出増加に伴い、年20パーセント程度貨物取扱量が増加しており、ターミナルオペレーションの効率化が求められている。特に、設備が整っていても、オペレーターの技術が未熟であるため、船舶へ（から）の貨物の積み下ろし、ヤードからトラックへの積み込みのスピードが遅いこと、ヤードにおける貨物の配置や、バンニング、デバンニングのためのスペースの効率的利用ができていないことが、オペレーションの効率化を阻害していることから、神戸港の技術・ノウハウの移転により、これらの課題を解決できる人材の育成を図る。
4. プロジェクト目標	ハイフォンポート社内のすべてのターミナルオペレーターの技術が向上し、ハイフォンポート社が管理運営するターミナルにおける貨物の取扱いが効率化する。
5. 対象地域	ハイフォン市
6. 受益者層 (人数規模)	ハイフォンポート社の関係部門のマネージャー、リーダークラス（研修参加者）及び雇用されているオペレーター（約800人）
7. 活動及び期待されるアウトプット	ハイフォンポート社への短期専門家派遣、ハイフォンポート社からの神戸への研修員受入れを通じて、以下のアウトプットが期待される。 1. ハイフォンポート社内の指導力・教育力の向上により、ハイフォン港において、適切なオペレーターへの指導・教育が実施される。 2. ハイフォンポート社内のヤードの効率的利用に向けた計画力の向上により、ハイフォン港において、ヤード利用の効率化が実践される。 3. 本事業終了後も、新人のオペレーターに対して技術、安全確保を社内で教育し、組織的に継続して、オペレーション技術のレベルが保持できるようにする。 4. ハイフォン港が抱えている他の課題について、神戸港の現状・取り組みを、将来の改善に向けて参考とすることができる。
8. 実施期間	2014年1月から2017年1月
9. 事業費概算額	29,798千円
10. 事業の実施体制	神戸国際協力交流センターがプロジェクトを統括し、神戸市みなと総局、神戸港埠頭会社、民間港運会社の連携によって、効果的な事業推進を図る。
II. 応募団体の概要	
1. 団体名 (提案自治体)	公益財団法人神戸国際協力交流センター (神戸市)
2. 対象国との関係、協力実績	<ul style="list-style-type: none"> ・国連人口基金と連携した「アジア都市情報センター事業」においてダナン市の行政官の都市政策研修を実施。 ・JICAの草の根技術協力事業により、ダナン市のダナン総合病院産婦人科・小児科センターにおいて、体系的な看護師教育プログラムを実施中。